

事業者排出量削減報告書

(あて先) 京都府知事	
住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	氏名 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名。記名押印又は署名)
宇治市宇治琵琶33	宇治市役所 市長 久保田 勇 電話 0774

京都府地球温暖化対策条例第19条の規定により提出します。

特定事業者の 主たる業種	行政
該当する事業者 要件	<input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第1号該当事業者（大規模エネルギー使用事業者（原油に換算して1,500キロリットル以上）） <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第2号又は第3号該当事業者（大規模運送事業者（トラック又はバス100台以上/タクシー150台以上/鉄道車両150両以上）） <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第4号該当事業者（その他の温室効果ガスの大規模排出事業者（二酸化炭素に換算して3,000トン以上））

計画期間	平成 18年 4 月 ~ 平成 20年 3 月
------	-------------------------

基本方針 平成18年度より運用する「宇治市地球温暖化対策実行計画（第2期計画）」の取り組みの徹底を図ることで、温室効果ガス排出量の削減を目指す。  
 具体的には省エネルギーの取り組みによる電力・都市ガス使用量の削減、エコドライブ等の推進による公用車燃料使用量の削減、紙、水使用量、ごみの排出量の削減にすべての施設を挙げて取り組む。

推進体制 環境企画課を事務局とする。各所属では所属長を中心として取り組みを推進する。

年度ごとの具 体的な取組 及び措置	年度	設備、対象、工程等	措置内容	
			18~19	小・中学校、幼稚園
	18~19	市道街灯	100wの水銀灯は、交換時に付近の住民の方々の了承を得た上で100wの水銀灯相当のインバーター式蛍光灯（消費電力約半分）に変えていく。新設の際には設計段階でインバーター式蛍光灯を発注する。	
	18~	浄化センター	超微細気泡散気装置を導入し、従来の装置より送風量を抑え消費電力を減らす。	

温室効果ガス の排出量等	排出区分	基準年度（実績） （17）年度 （二酸化炭素換算（t））		目標年度（計画） （19）年度 （二酸化炭素換算（t））		削減率 （計画） （%）	報告年度（実績） （19）年度 （二酸化炭素換算（t））		削減率 （実績） （%）
		A 事業所等排出区分	13,483 t	13,146 t	-2.5 %		13269.2 t	-1.6 %	
B 輸送車両排出区分	t	t	%	t	%				
C その他排出区分	336 t	328 t	-2.5 %	216.5 t	-35.6 %				
排出合計	*1 13,819 t	*2 13,474 t	-2.5 %	*4 13485.7 t	-2.4 %				

その他の地球 温暖化対策に よる温室効果 ガス削減量 等	対策等の区分	目標年度（計画）				報告年度（実績）			
		取組量等		（二酸化炭素換算（t））		取組量等		（二酸化炭素換算（t））	
森林の保全及び整備	(整備面積) ha	(吸収量) t	(削減量) t	(整備面積) ha	(吸収量) t	(削減量) t			
府内産の木材の利用	(利用量) m³	(削減量) t	(削減量) t	(利用量) m³	(削減量) t	(削減量) t			
自然エネルギーを利用した 電力又は熱の供給	(発電量) kWh	(削減量) t	(削減量) t	(発電量) kWh	(削減量) t	(削減量) t			
グリーン電力の購入	(購入量) kWh	(削減量) t	(削減量) t	(購入量) kWh	(削減量) t	(削減量) t			
削減量等合計		*3		*5					

差引排出量 (排出合計-削減等合計)	基準年度（実績）		目標年度（計画）		削減率（計画）	報告年度（実績）		削減率（実績）
	*1 13,819 t	(*)2-(*)3 13474.0 t	-2.5 %	(**)-(*)5 13486 t		-2.4 %		

特記事項 1. ISO14001の継続的改善  
 宇治市役所本庁舎では、ISO14001の認証を取得しており、環境に影響を与える事業の継続的改善を図るほか、古紙回収事業や緑化啓発事業、学校版環境ISOの推進などの環境に良い影響を与える事業を更に増やしていきたいと考えております。  
 2. 学校版環境ISOの推進  
 平成17年度より学校版環境ISOを推進しており、小・中学校、幼稚園にて省エネに取り組んでいます。温室効果ガス削減目標達成の重要なポイントとも言えますので、今後も更に推進していきたいと考えております。  
 3. エコファミリー推進事業  
 19年度で4年目の取り組みとなるエコファミリー推進事業は、ご応募いただいた市民の方々に夏場3ヶ月間エコ生活に取組んでいただくものです。19年度は140世帯のご家族にご応募いただきました。その成果として、エコファミリーに取り組まれた世帯の二酸化炭素排出量は、日本の平均より3ヶ月間で27.8kgも少なくなっています。  
 4. 市民一人一日あたりごみ排出量の削減  
 平成22年度までに一人一日あたりごみ排出量を平成8年度比で100gを減量するという目標をたて、古紙回収事業や生ゴミ処理機等購入補助などを行っています。  
 5. 環境啓発への取り組み  
 本市では、環境月間である6月に様々な啓発事業を行っています。市内の主要な駅で環境啓発物品を配る街頭啓発、地球温暖化に関するパネルや環境にやさしい商品を展示する「環境展」などを開催しました。また、市内2ヶ所の小学校で生徒を対象とした「ちびっこ環境学習会」を開催しました。  
 ※宇治市では実行計画との整合性を図るため平成12年度現在の排出係数を使用しております。そのため、本計画書・内訳書と、宇治市発表の温室効果ガス排出量に多少の差が出ておりますが、何卒ご了承下さいますようお願いいたします。

連絡先	担当部署	
	担当者氏名	
	住所	
	電話番号	
	ファクシミリ番号	

注 1 該当する口には、レ印を記入してください。 不要です。  
 2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度を、「報告年度」とは計画期間のうち、今回報告の対象となる年度をいいます。  
 3 「事業所等排出区分」とは京都府内の事業所等の事業活動のためのエネルギーの使用に伴い発生する温室効果ガスを、「輸送車両排出区分」とは自動車運送事業者については使用の本拠の位置を京都府内とする車両の排出する温室効果ガスを、鉄道事業者については保有する貨物車両又は旅客車両の排出する温室効果ガスを、「その他排出区分」とは上記以外の京都府内における事業所等の事業活動に伴い発生する温室効果ガスをいいます。  
 4 「その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等」の実績については、計画期間中の実績の累計を記入してください。  
 (例) グリーン電力の購入による温室効果ガスの削減実績が18年度5トンで19年度10トンの場合、19年度の報告書の実績については18年度と19年度の実績を累計し15トンと記入  
 5 「特記事項」には、平成2年度（1990年度）を基準とした排出量との対比やエネルギー原単位CO2排出量、省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン関連の採用、特定フロンなどの条指定外の温室効果ガスの削減などを記入してください。